

ジャーナリズム大学院副専攻プログラム 2014 年度募集の件

大学院政治学研究科ジャーナリズムコース（ジャーナリズム大学院、J-School）は、全学の大学院生に開かれたジャーナリズム教育・研究プログラムを提供します。このプログラムを「ジャーナリズム大学院副専攻プログラム」（以後「プログラム」）と呼びます。

・定員 全学で 10 名程度

1. プログラムへのエントリー申請

- (1)早稲田大学のいずれかの研究科に所属する学生（大学院政治学研究科政治学コースおよび国際政治経済学コース、公共経営大学院の学生を含む）は、プログラムへのエントリー申請をおこなうことができます。
- (2)プログラムへのエントリーを希望する学生は、所属する研究科の指導教員もしくは教務主任の承認を得て、大学院政治学研究科に申請してください。（※新入生は事後承認可）
- (3)申請にもとづき、大学院政治学研究科は書類審査および面接審査を経てエントリーを承認します。

2. 科目履修

- (1) プログラムへのエントリーを認められた学生は、履修指導にしたがい、別表「ジャーナリズム大学院副専攻プログラムにおける履修要件単位」に基づいて科目登録を行って下さい。
- (2) プログラムへのエントリーを認められた学生は、原則としてジャーナリズムコースのすべての科目を履修することができます（通常他研究科聴講では、「方法論科目」、「演習科目」、「実践科目」の履修を認めていません）。
- (3) 「実践科目」については、実習料（1 科目 2000 円）を徴収します。

3. 修了認定

- (1)プログラムの修了認定に必要な単位数は 12 単位です。履修の要件は、別表「ジャーナリズム大学院副専攻プログラムにおける履修要件単位」によります。
- (2)プログラムの認定に必要な単位を修得した学生に対しては、大学院政治学研究科から同プログラムの修了認定証を交付します。
- (3)プログラムで修得した単位を、所属する研究科における修了要件単位としてどのように扱うかは、所属する研究科の決定によります。なお、通常、他研究科聴講は 10 単位まで修了要件単位に算入することができます。

4. プログラム修了後について

- (1)プログラムを修了し、所属する研究科で修士号を取得した学生について、政治学研究科ジャーナリズムコースへの推薦入試を実施します。
- (2)政治学研究科ジャーナリズムコースに入学した場合、副専攻プログラムで修得した単位は、16 単位まで、既修単位として認定されます。ただし、すでに取得した修士号のための修了要件に算入された単位は除きます。
- (3)本推薦入試による入学者は、1 年の早期修了制度の適用を申請することができます。

5. 実施時期と日程

- ◆副専攻説明会：2014 年 3 月 31 日（月）16:00～17:00
会場 11 号館 7 階 705 号室
- ◆申請書提出期間：2014 年 3 月 31 日（月）～4 月 3 日（木）17:00
提出先：大学院政治学研究科事務所
- ◆面接：2014 年 4 月 7 日（月） 20 分程（13:00～15:00 の間で実施予定）
面接時刻・場所は申請書提出後に調整します
- ◆結果発表：2014 年 4 月 9 日（水）10:00
大学院政治学研究科事務所掲示板にて合否発表

※電話での問い合わせにはお答えできませんので予めご了承ください。

※合格者は、科目登録二次登録および他研究科聴講登録期間内（4 月 12 日～14 日）に、所定の科目を登録する必要があります。

<ジャーナリズム大学院副専攻プログラムにおける履修要件単位>

科目区分			必要な単位数
■政治学研究科共通設置科目			
共通基礎科目	方法論科目（ジャーナリズム）	経験的方法	任意
		規範理論	
■ジャーナリズムコース設置科目			
演習科目	ジャーナリズム・メディア研究演習		任意
	専門演習		
ジャーナリズム・メディアセミナー			2 単位以上
理論科目	ジャーナリズム・メディア研究（入門）		2 単位
	ジャーナリズム・メディア研究（応用）		2 単位以上
	専門分野	政治分野	
		国際分野	
		経済分野	
		社会分野	
		文化分野	
		環境／医療／科学技術分野	
実践科目	ニュースライティング入門	4 単位以上 6 単位以内	
	インターンシップ／フィールドワーク		
	デジタルトレーニング		
	ジャーナリズム実習（入門）		
	ジャーナリズム実習（応用）		
副専攻プログラム認定に必要な単位数			12 単位以上